

## ～ 富士山世界文化遺産登録一周年記念 「富士山のあるまち」にぎわい事業 ～

富士宮の特産物を使ったメニューの料理体験や、地元の特産品を販売するマルシェで、地元食材の揃う商店街をアピール。逸品交換券の販売や商店街すごろくマップの配布により、名所と商店を結び付け、街歩きを促進した。

所在地：静岡県富士宮市中央町8-13  
TEL：0544-26-3380 FAX：0544-27-3952  
URL：<http://16-site.com/>  
組合員数：27名  
商店街の類型：地域型商店街

### 商店街の概要と事業を実施した背景

当商店街は、JR富士宮駅北口から中央町交差点までを街区とする商店街。毎月16日に商店街総出で駅前「十六市」イベントを行っている。駅前には東京・成田への直通バスや富士登山バスが発着するバスターミナルがあり、富士山周辺観光の拠点になっている。来街者は地域内の住民が多いが、富士登山者や浅間大社への参拝客も多く、2013年6月「富士山世界文化遺産」に登録されたことを追い風に、富士宮の良さをさらにPRして個店の売上げに結びつけて行きたいと考えている。



### 実施した事業の概要

#### ①料理体験「富士山をおいしくいただきます！」を開催

特産品の「ニジマス」や「富士の鶏」を使った調理と試食を全6回行い、延べ210名が参加した。富士宮の特産物を使ったメニューや調理法、お弁当の盛り付け方の紹介により地元特産品への関心が高まり、家庭の食卓に並ぶきっかけとなった。

#### ②富士宮の特産品等を販売する「マルシェ」の開催

商店街内のアンテナショップと協働し、「十六市」で富士宮の特産品を始め全国各地の物産を販売し、来街者の「食」への興味・関心を惹いた。商店街で地元食材が揃うことをアピールし、店主との触れ合いを通じて、誘客にもつながった。

#### ③「富士山のあるまち富士宮・自慢逸品交換券」の発行

会員店舗の自慢の商品を知ってもらうため、1,000円で1,200円以上の逸品と交換できる引換券を発行し、個店の魅力をPRした。

#### ④「富士宮まちなかすごろくMAP」の作成と配布

当商店街をスタートし、サイコロを振って出た目の数だけ進み、マイロード本町、中央商店会、神田商店街、大社通り宮町、西町商店街を通過して湧玉池のゴールを目指すゲームマップ。裏面には英語版も印刷し、子供たちが英単語を学ぶようにした。賽の目によってスタートに戻ったりジャンプしたりの変化や、「富士山の高さは？」などのクイズに答えるマス(30問)では、正誤により大きく前進・後退する面白味がある。「滞在時間を楽しめた」「知りたい情報が得られた」と好評だった。



### 成果と成功の要因

広報媒体に地元のコミュニティラジオ局を積極活用したことで、即効性の高い集客効果が得られ、イベント参加者の年齢が10歳以上若返った。また、商店街が常に活動しているという情報発信ができたため、「十六市」への誘客につながった。「逸品交換券が商店街で買い物をするきっかけになった」「地元特産品に関心を持った」「商店街で地元食材が入手できることを知った」などの声が聞かれ、本事業が来街促進につながっていることが確認された。

商店街マップには、すごろくゲームの要素を取り入れ、世界遺産「富士山のあるまち」の名所と商店を結び付ける事で、観光客を中心に子どもから大人まで街歩きを楽しんでもらい、滞留時間の増加と回遊性の向上につながった。また裏面は、ゲームを通して223の英単語を学ぶことが評判を呼び、教育委員会の依頼により全市の小・中学生の教材にも使われている。

### 今後の取り組み

今回の事業のノウハウを活かし、地元食材の普及や市が推進する「食」のまちづくり(フードバレー)の観点を取り入れ、毎月16日に開催される「十六市」に加え、各商店においても今回の事業で扱われた商品を継続して販売する。また、新商品の開発や新規のサービスについて、関係する企業・団体と連携しながら販売促進を考え、マンネリにならない新鮮なイメージを提供していく。常に商店街が活動している印象を与えることで、創業希望者や不動産関係者にもアピールし、今後も空き店舗0の状態を継続したいと考えている。